



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2018

No. 18 (平成30年11月9日発行)

佐高 SGH 高1 ファイル

高大連携課題研究プロジェクト 高1 中間発表会 (@宇都宮大学)

2018年10月27日(土)、宇都宮大学の峰キャンパスで高校1年の課題研究中間発表を行いました。当日は、宇都宮大学のオープンキャンパスが行われており、生徒は説明会や模擬授業に参加することができました。その後、いよいよ中間発表となり、宇都宮大学国際学部教授の松金公正先生にご手配いただいた12の会場でそれぞれの発表を行いました。生徒は緊張した表情でパワーポイントを使って自分たちの提案をしました。前日、徹夜に近い準備をした班もあったようです。発表は、前々日に練習会を実施した甲斐があり、宇都宮大学の先生方からおほめの言葉をいただいた班もありました。大学の先生方からの**専門的かつ有益なアドバイス**をいただき、生徒たちは今後研究を進める上で大いに参考になりました。感謝いたします。



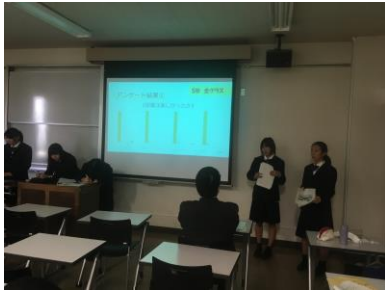
1 発表でアドバイスをいただいた宇都宮大学の先生方

No.	学部	お名前	時間帯	教室	Group
1	地域デザイン科	大森玲子先生	13:30~15:00	4B11	2,3,5
2	地域デザイン科	中村祐司先生	13:30~14:30	4B43	30,31
3	地域デザイン科	石井大一郎先生	13:00~14:30	4B12	21,22,24
4	地域デザイン科	長田哲平先生	13:30~14:30	4A43	1,12
5	国際	中村真先生	13:00~13:30	4A43	6
6	国際	栗原俊輔先生	13:00~14:30	4A47	19,20,23
7	国際	高橋若菜先生	13:00~14:30	4A35	4,11,14
8	教育	陣内雄次先生	13:00~13:30	4A46	17
9	教育	良香織先生	13:00~14:30	4A41	25,27,29
10	教育	小野瀬善行先生	13:00~14:00	4A44	26,28
11	教育	平井李枝先生	13:00~14:00	4B41	9,10
12	工	大庭亨先生	13:30~14:00	4A46	13
13	農	飯郷雅之先生	13:00~14:00	4B42	7,8
14	農	大久保達弘先生	13:00~14:30	4A42	15,16,18

2 生徒の感想

「今後の研究をする上で参考になったこと」と「これまでの課題研究に対する自身の取り組みについて」の感想を生徒が書きました。

自分たちの主観を入れるべきところと、入れずにアンケートやネットの結果で示すところの区別の仕方が、アドバイスを聞いてわかってきた。また、常にテーマやコンセプトを頭に入れて研究することが重要だと感じた。今回のアドバイスで、自分たちが研究を進めていった中でテーマが若干ずれていたことが明らかになった。また、集めたデータが少なく、説得力に欠けていたと思った。 1年1組 小松原 大靖



私は音楽療法の研究をしています。そこで音楽療法に関するアンケートを実施したのですが、その内容の中の「あなたの落ち着く音楽はなんですか」ということの落ち着くということに関して落ち着きには眠くなる、ホッとするなどの効果もあるんだよと教えてもらい、より様々なことを詳しく調べる必要があることがわかり、これからのスライド作りにとっても役立ちました。

フィールドワークを2度行ったり、アンケートを実施したりして、とても自分なりに努力したと思います。しかし、本番直前になって休みの連絡が来たりなど、班の間での連携が足りていなかったと残念ながら感じています。スライドに関して、部活の兼ね合いでスライド作成に参加できない生徒がおり、私とメンバーの一人で大部分を占めてしまう事が起こってしまい残念に感じます。今回、宇都宮大学の先生に指導された点を改めて見直し、更なる良いスライド作成に尽力していきます。

1年3組 友野 直樹

全体的に、一つ一つの言葉に対する説明が足りなかったことがわかった。専門でない人を見ると、どんな意味の言葉なのかがわからないことがあるので、これから意味を一つ一つ書いていこうと思った。また、いろいろなことに具体例が必要だと思った。例は一つ以上書くべきだと思った。細かいところも気にしてパワポを作成するともっといい発表になるんだなと感じた。

もう少し前から準備をしていれば、パワポの作成がもっと早く終わっていたはずなので、もう少し早く終わらせて、細かい点や全体的な出来をもう一度確認する時間が必要だと思った。

1年2組 関谷 愛可

今回は、1つの子ども食堂にしかインタビューをしていなかったため、比較するために他の子ども食堂にもインタビューをする必要があるというアドバイスを頂きました。1つの結果だけでは信憑性がないので、比較するものを用意することは大切だと思いました。

私は、班長なので市役所に電話をしてインタビューしたり、子ども食堂のアポ取りをしました。班でスライドを作る人と原稿を書く人を分担していて、私はスライド作りをしました。班員それぞれが自分の仕事をしっかりやり、協力できたと思います。

1年4組 茂木 千紘

先生になぜアンケートの1つ目にイメージについて質問したのかという事を聞かれてすぐに答えることが出来なかった。なぜアンケートしたのかという事を自分の研究なのによく考えていなかった事を気付かされた。宇都宮大学の学生に「題名と内容が合っていない、トリハロメタンは日本中どこでも問題であると思う」と言われた。内容に適しているタイトルをつけたい。

課題研究に積極的に取り組むことができ、パワーポイントも見やすく作ることができた。班員と協力し合い、フィールドワークを行えた。中間発表で第三者からの指摘を受け、準備不足だった部分も見つけることができた。11月の発表会に向けて最終チェックを怠らないようにしていきたい。

1年1組 門脇 貴砂